

# 地震時の行動の流れ

地震発生から 私たちがたどる経過の概略



眠っている夜中、炊事の火を使っている最中……地震はいつ襲ってくるかわかりません。どんなときでもまず「身の安全」。それから「火の始末」。



もしも、家の中で火災が発生したら落ち着いて消火しましょう。火が天井まで達してしまったような場合は、避難しましょう。

だが、もしも……

家が倒れた！倒れかかっている！近くに火災が迫っている！そのような危険を感じたらすぐに外へ！

避難するときは、電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めましょう。

**避難拠点へ！**



突然、大きな揺れが襲ってきて死ぬかと思う恐怖感にとらわれ、とにかくそこから逃げ出したかった（「阪神・淡路大震災」の体験者）。ほとんどの人がそのように思うはずですが、「避難所」目指して一目散に逃げ出すといった行動はしないでください。あわてて行動することは大変危険です。また、いかに大きな揺れであっても家屋が倒壊したり火災が発生しなければ、あるいはそのような危険がなければ、避難の必要はありません。



わが家の安全や家族の無事を確認したら近所のお年寄りや障害のある方などへの支援を！



火事だ！  
消火に協力して下さい！



避難  
拠点へ！



避難拠点  
区立小・中学校



夜間や休日などは閉鎖されています。近くに住む区職員等が駆けつけて誘導しますので、それを待ちましょう。